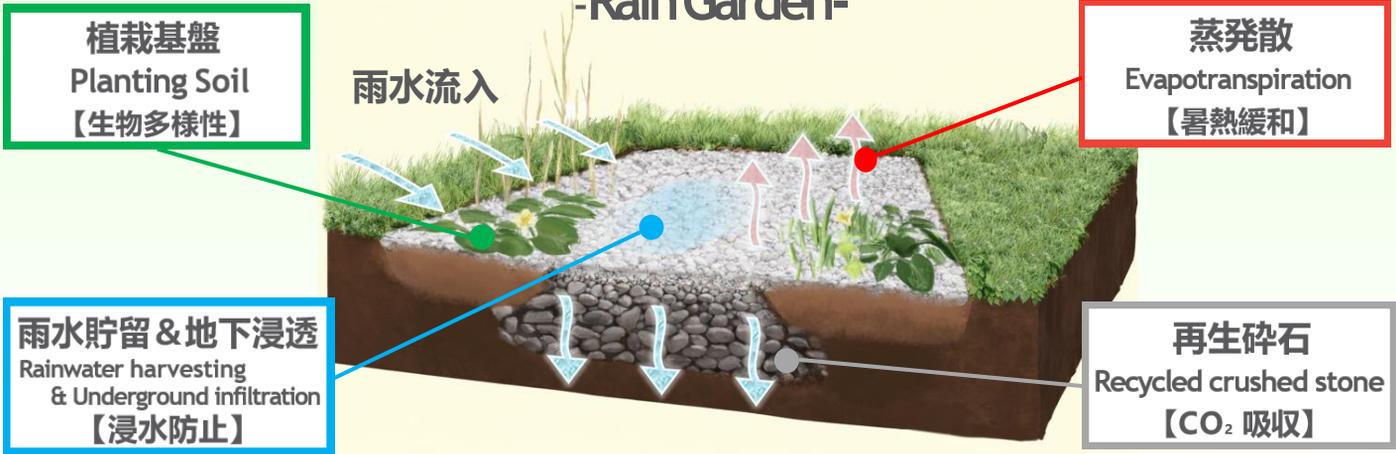


東京理科大学グリーンインフラ研究フィールド  
TUS Green Infrastructure Research Field

# 雨庭の研究ははじめました

## -Rain Garden-



### はじめに

近年、増加傾向にある記録的豪雨により災害に強いまちづくりが推進されようとする動きが強まっており、その一環として自然環境が有する多様な機能を社会へと活用するグリーンインフラの導入に注目が高まってきました。本学ではそのうちの一つである雨庭に焦点を置き、各学部の視点から「地域の魅力向上」、「防災・減災」、「環境保全」などにフォーカスした研究の推進が2025年度にスタートしました。

### 共同研究体制

#### 社会基盤工学科

二瓶 泰雄  
加藤 佳孝 仲吉 信人  
西村 和朗

高柳 誠也

伊高 静

建築学科

経営システム工学科

## 雨庭を含めた環境の今後の展望

雨庭を作って終わりではグリーンインフラを含めた多様な研究にはなりません。私たちは今後、東京理科大学正門周辺環境整備を少しずつ進めながら、雨庭を含むグリーンインフラの研究拠点として発展させていくことを目標としています。この過程において、より多くの人々を巻き込みながら、実際の環境をフィールドとした研究を継続していく予定です。以下に最終的に私たちが目指すゴール像を以下に示します。

### グリーンインフラ研究フィールドの未来像



既存生態系の保護

既存樹木、豊かな生態系の維持

賑わい創出

ブランコ、ベンチ、遊歩道

暑熱緩和効果

グリーンカーテン

雨水貯留・浸透効果

雨庭

緑溝

CO<sub>2</sub>吸収

再生碎石使用

## 雨庭の施工

現地盤における試験後に実際に施工を開始し、雨庭の造成を2026/1/6～1/7の間に  
行い、浸透基盤4m<sup>2</sup>の構造となる雨庭が完成しました。



1



2

**掘削開始**

3

**観測樹、再生砕石設置**

4

**植栽基盤設置**

5

**植栽設置**

6

**雨庭本体完成****化粧石設置**

工事協力：日比谷アメニス株式会社

## 雨庭【Rain Garden】



正門付近は雨が降ることによって冠水することがよくあります。これに対処するため正門に水が集中する導水経路の途中にハンプを設置し、その後歩道を整備して本雨庭に雨水を誘導させる狙いがあるのです。そのため、雨庭はその第一歩として重要な要素をはらんでいます。

# グリーンインフラとは ?

グリーンインフラ(Green Infrastructure:略称GI)とは、社会資本の整備や土地利用において、自然環境が有する多様な機能を活用し、SDGsに配慮して魅力的な都市・地域づくりを目指すことを目的としているインフラです。そして、それらグリーンインフラの形は都市や郊外において様々な形で活用されています。以下がその代表例です。

## 都市型グリーンインフラ

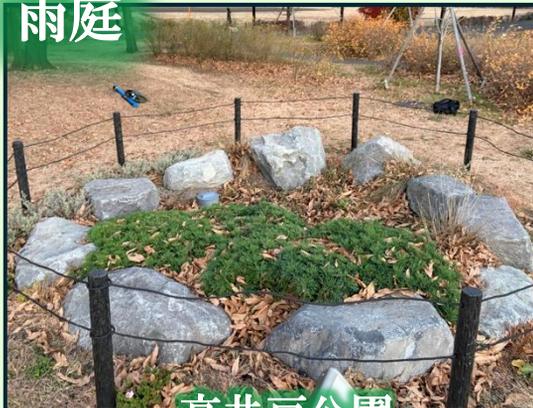
### 緑溝



大島小松川公園

バイオスウェルとも呼ばれ、敷き詰めた砂利が浸透層となって地中に雨水を導くインフラである

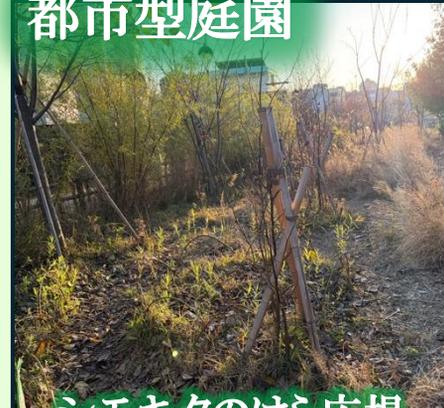
### 雨庭



高井戸公園

レインガーデンとも呼ばれ、敷き詰めた砂利および植生層と地下にある浸透層が地中への雨水の貯留・浸透を導くインフラである

### 都市型庭園



シモキタのはら広場

近隣地域からでる利用可能な堆肥を用いて都市部における自然の生物多様性および農業的役割を担うインフラである